

某書店の方から「注文書つくって見たら?」と教わったので見よう見まねでつくって見ましたが、いろいろ不備があるかも知れません。もしも不明な点がありましたら遠慮無くお問合せください。



ざつぶんごめん
雑文御免
浅生鴨 著

文庫(A6)判 384頁
発行 ネコノス
本体 900円+税

ISBN978-4-9910614-0-0 C0195



うっかり失敬
うっかり失敬
浅生鴨 著

文庫(A6)判 384頁
発行 ネコノス
本体 900円+税

ISBN978-4-9910614-1-7 C0195

「文学フリーマーケット」で頒布するためにつくった少部数の自主制作本です。あまりにも印刷部数が少ないため原価が高く、諸々を考えると定価でも赤字ギリギリですし、もう在庫はほとんどないのですが、読みたいと言ってくれる方がまだ少なからずいらっしゃって、なんとかその声にお応えしようと思い切って増刷することになりました。自主制作本で、まさかの重版です。もしも**直接取引・七掛け・買い取り**というやや厳しめの条件でもご相談に乗っていただける書店様がいらっしゃいましたら、お声がけを図々しくお待ちしております。

「ここには本来ならば到底他人に見せられるようなものではない単なる落書きや駄文や、まったく作品にもなっていない詩や句のまねごとまでが堂々と載っていて、まあ、はっきり言えばかなり恥ずかしい。とはいえ、これはあくまでも僕が自身の記録のために集めたものなので選別するわけにもいかなかった。とにかくクオリティの低さには目を瞑っていただきたい。少なくとも、例の公式アカウントで書いていた文章を、その一部とはいえ、何とか一つにまとめられたので、いくぶんホッとしている。」(『雑文御免』「はじめにお詫びから」より)

「そこで、これまでに書いたものをまとめることにして、今こうやって手元に集めたものをぼんやり眺めながら、何やら不思議な気分になっている。これまでに僕が辿ってきた思考の形跡が明らかにここにはあって、これはもう間違いなく自分の書いたものなのだけれども、ところが今の自分とは感性が微妙に違っているのだ。僅か数年で人はこんなにも変わるのかと驚く。だからこれを紙の形でまとめておくのは、つまり僕自身のためなのだなど、ようやくわかった。」(『うっかり失敬』「またしてもお詫びから」より)

著者がこれまで雑誌、ネットメディア、SNSなど各所で書いてきたエッセイ、ダジャレ、インチキ格言、短編小説、回文などに加えて、エッセイ集『どこでもない場所』に収録されなかった掌編や某公式SNSアカウントを運用していた時期に書かれた一連の文章も収録した言葉の断片・無選別の雑文集。第一弾の『雑文御免』だけでは全く収まりきらず、しかたなく第二弾もまとめて刊行。

※ご希望があれば各1冊ずつ見本としてお送りします

▶お問い合わせ・ご注文はネコノスまで
※あらためて弊社よりご連絡いたします。

FAX : 03-6800-2150
mail : books@neconos.net

貴店名	発売元：ネコノス		 9784991061400
	ご連絡先	既刊 6月中旬 重版出来予定 雑文御免 浅生鴨 ISBN978-4-9910614-0-0 C0195 本体900円+税 文庫版 384ページ	
ご担当：	様	冊	

貴店名	発売元：ネコノス		 9784991061417
	ご連絡先	既刊 6月中旬 重版出来予定 うっかり失敬 浅生鴨 ISBN978-4-9910614-1-7 C0195 本体900円+税 文庫版 384ページ	
ご担当：	様	冊	